

## 大東町塩田地区 [ 携帯電話不感地域解消対策について ]

Q211

現在、(塩田地区には) a uがあり、笹谷・箱淵はある程度繋がるが、塩田自治会の半分は不感地域である。塩田自治会の奥部も繋がるようにしてもらいたい。また、場所は何処に建つのか。

A

今回、塩田に建つのは、NTTドコモで、a u、ソフトバンクには参入してもらえませんでした。NTTドコモが1基の予定です。

今回は伝送路も行政(市)が整備を行うので、算入してもらえることになりました。位置については、机上では決まっているようですが、判りません。(政策企画部)

Q212[関連質疑]

塩田の奥に建ててもらいたい。

A

詳細な場所については、未定です。(政策企画部)

## 木次町日登地区 [ 携帯電話不感地域解消対策について ]

Q213

携帯電話不感地帯対策について、どのような方法で対策をしているのか聞きたい。

A

現在市内19カ所に不感地帯があり、携帯電話事業の補助金で整備を進めています。不感地域は山間地の集落が点在する箇所が該当しますが、業者側としてはそういう箇所は経営的に成り立たず、市が鉄塔を建てると言っても参入してもらえませんでした。

今年度より鉄塔を建てることにあわせ、無線機器に光ケーブルを設置する費用を国の補助制度で行うこととなり、市が鉄塔と光ケーブルを負担することで事業者が(参入を)受け入れてくれました。経済対策により鉄塔を18基整備する予定です。中谷地区は市で整備を計画していましたが要望が多すぎて国が対応できず、NTTドコモに自前でしていただく話が成立しました。宇谷地区については整備が終了しました。

(政策企画部)

平成 2 1 年度市政懇談会（まとめ）

木次町新市地区 [ 市外局番の統一について ]

Q214

同一市内でありながら市外局番をダイヤルすることに抵抗感がある。合併による弊害だと思う。利便性を考えると市外局番をダイヤルせずに通話できるよう市内で一本化を図ってほしい。

A

N T T に連絡し問合せしましたが、合併により全国的によりそうした実態があるようです。要望は聞いているようで、最終的には N T T と協議をしてほしいとのこと。市外局番のメリット・デメリットがあり、市外局番を回す理由もあるようです。今後協議したいと思います。

（政策企画部）

[ 情報政策課回答 ]

この件について、N T T 西日本島根支店に問い合わせしましたところ、雲南市は木次局と掛合局の二つのメッセージエリア（M A）に分かれており、木次局（大東町、加茂町、木次町、三刀屋町）及び掛合局（吉田町、掛合町）の局内間は、同一料金（8.5 円 / 3 分）となっています。

一方、局をまたがる通話（例えば木次町と吉田町間の通話）ですと、市外局番を付することが必要ですし、料金も 20 円 / 3 分と高くなります。

メッセージエリアの変更は、現在では行政区画単位での変更しか認められておらず、雲南市エリアを一体化した場合、これまで同一エリアであった奥出雲町、飯南町は市外扱いとなります。

これに伴い、光ケーブルなどの専用回線使用料も変更となります。さらに、変更には契約者全員が要望し、かつ電話番号の変更、料金変動について了解が取れていることも条件となっております。

以上のことや、短縮番号登録の利用、携帯電話が普及している現状から考えますと、エリア変更については慎重に検討させていただきたいと存じます。

吉田町田井地区 [ 携帯電話不感地域解消対策について ]

Q215

災害、救急の観点も含め弊害を解消してほしい。市民に公平な対応をお願いしたい。

A

H 2 1 年度当初、19 の不感地帯ありました。中山間地の需要が設置へ影響します。当初計画では 6 基の整備計画でした。

N T T ドコモから、市が基地局整備をすれば不感地域へ参入することに同意してもらえることになり、この度の緊急経済対策をうけて、また、市長の強い意向もあり 9 億 2 千万をかけて新たに 12 基の追加設置を決定した結果、18 基を作る予定となりました。

吉田については民谷で 3 基、矢入と上山で各 1 基の申請をしています。民谷の 3 基は当初からの予定分でした。

これ以外に、N T T ドコモが高速道路の関連で芦谷、杉戸、梅木で対応するとのこと。矢入については、1 基で全ての箇所がカバーできるというわけではないと認識しています。残る部分も逐次整備をしていきたいと考えます。上山等でも用地の関係で相談させていただきたいと思ます。（政策企画部）

掛合町松笠地区 [ C A T V 気象情報について ]

Q216

松笠の気象情報が流れなくなっている。早急に修繕をしていただきたい。

A

松笠と波多観測所で観測された気象情報の提供は、数年前から休止をしています。旧有線放送施設は、15 年以上経過し老朽化により交換部品が無く休止となっています。

一般の気象情報については、ホームチャンネルの 10ch で流しており、またデジタル放送についてはデータ放送で各地域の詳細な（気象）情報も流れていますのでご利用ください。  
（政策企画部）

掛合町波多地区 [ 携帯電話不感地域解消対策について ]

Q217

災害時の連絡網について、電灯もつかない電話も使えない場合にどのようにして自分の安否を伝え、隣近所の安否を確認したらよいか。また自治会が孤立していくことのないように市（総合センター）とどのような形で連絡を取ったらよいか。携帯電話が非常に有効と考えるが、柄栗自治会、福田自治会、朝原自治会一部は不感地域でありぜひ解消していただきたい。

A

これまでも不感地帯の解消については努めていますが、市がやろうとしても事業者の参入がなければできない、経済効果の悪いところはなかなか入ってもらえない実情があります。

また鉄塔を建てるほかに伝送路の工事が必要ですが、これまでその部分については事業者負担で実施していました。

今回、国の補助制度ができたため何とか事業者が受けもらえるような状況に変わりつつあります。今年度当初、市内 6 基を予定していましたが、「不感地域を一刻も早く解消するように」との市長の指示もあり、今年から来年にかけて市内で 18 基の鉄塔を建てる方向で検討を進めています。

掛合町では、滝谷、穴見（左谷、右谷）、柄栗に整備するよう進めており、ドコモが参入するという回答をもらっています。これから国への申請等準備作業を進めていく予定にしています。

ただ、波多地区においては福田、朝原の一部が不感地帯として残っているので今後も継続して事業を進めていきます。また、今後総合センターを通じて用地確保のためのお願ひにあがることもあると思いますので、その際は用地提供についてご理解ご協力をお願いします。（政策企画部）

掛合町入間地区 [ 携帯電話不感地域解消対策について ]

Q218

今年の豪雪で数日間停電になった箇所がある中で、消防団が安否確認で各戸世帯をまわった際、連絡手段として携帯電話が使えないという状況にあり、急を要する場合に全く対応ができない。不感地域を解消してほしい。

A

穴見の右谷・左谷に 2.5 m の鉄塔を 2 本建てる計画です。

鉄塔を建てるにあたっては、用地と伝送路の確保が必要になってきます。用地の確保には土地所有者の協力、電送路の確保にも通行規制などで住民の方などに協力をお願いすることになります。

穴見の鉄塔も具体的な設置場所も決まっていますが、その際には協力をお願いします。

（政策企画部）

15 . [ 教育・学習 ]

大東町海潮地区 [ 海塩幼稚園について ]

Q219 [ 預かり保育への支援について ]

海潮幼稚園預かり保育について、雲南市では今年度 9 月から数か所で預かり保育が開始されると聞いているが海潮地区ではすでに振興会で実施している。保護者からは、地元で育てられることがとても喜ばれていて、運営においてはこれまで地域振興補助金などを活用しながらいろいろな体制